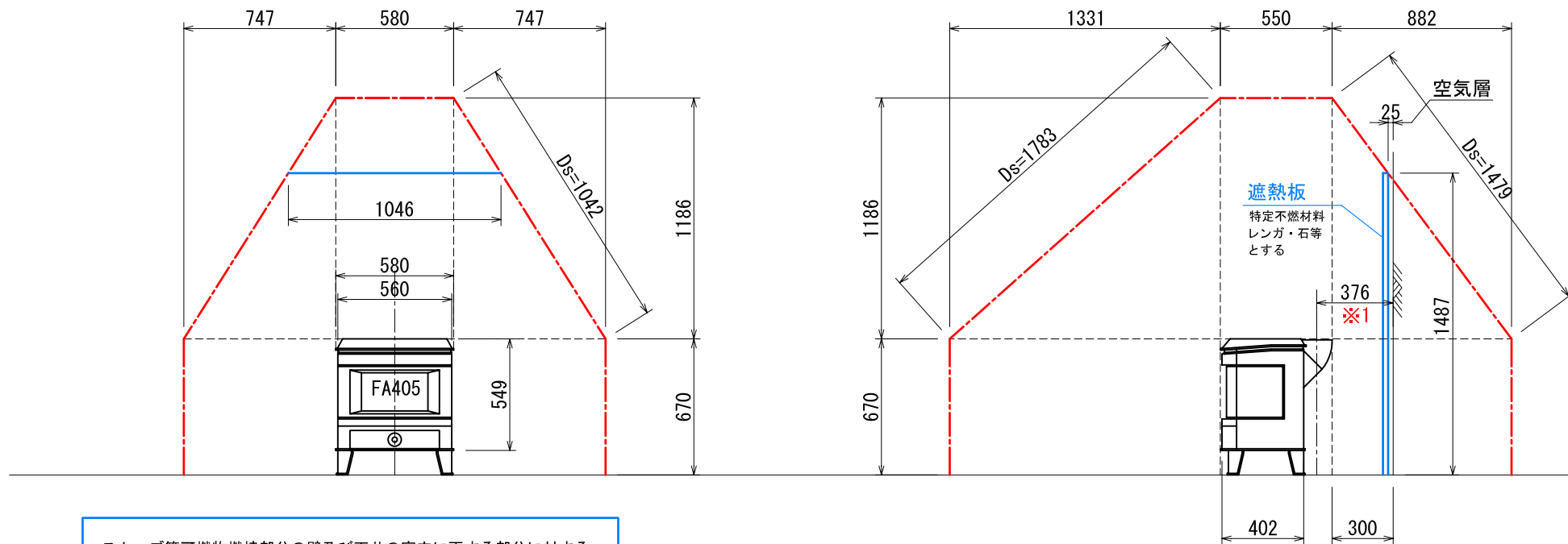


***ストーブ等可燃物燃焼部分**

ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。
 範囲内の下地及び仕上げは、特定不燃材料で仕上げること。
 範囲外の下地及び仕上げは、難燃材料で仕上げること。

側面図



ストーブ等可燃物燃焼部分の壁及び天井の室内に面する部分に対する火熱（輻射熱・対流熱）の影響が上記の図の通り遮熱板を設け、有効に遮断されている場合は、遮熱板の後方は可燃物で仕上げて良い。

※1 メーカーの規定は400ミリです。

FA405:セパ 内装制限告示内容に基づく ストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧

A _v		A _h	H _s		
側面	正面		側面	正面	背面
220698mm ²	307440mm ²	319000mm ²	747mm	1331mm	882mm
					1186mm

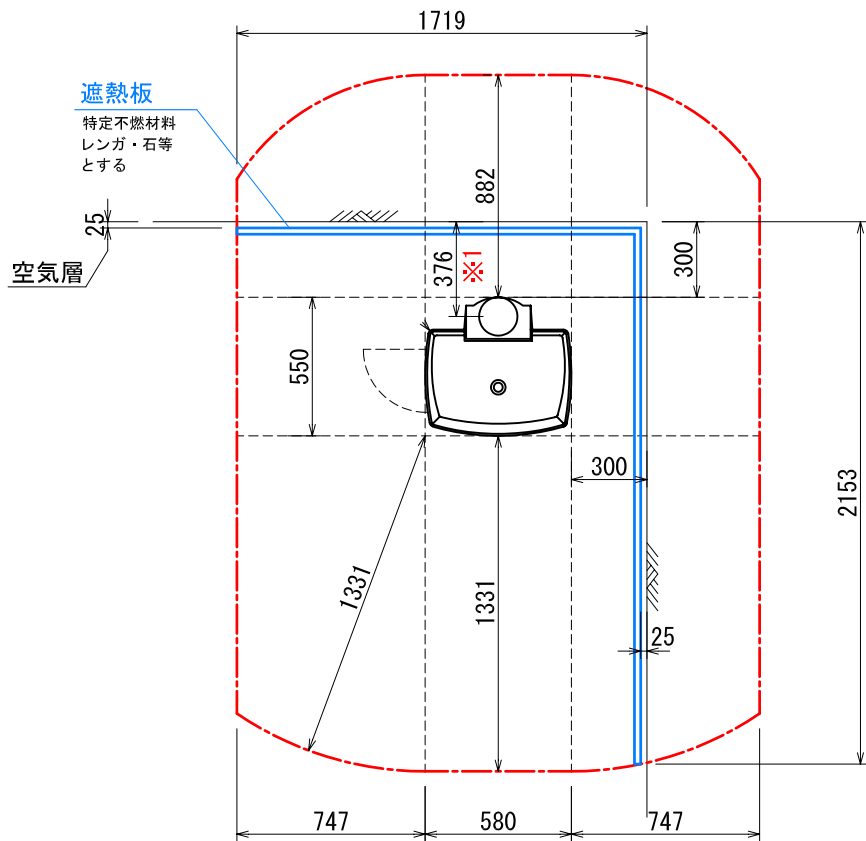
Av=ストーブ鉛直投影面積 Ah=ストーブ水平投影面積 Ls=ストーブ等可燃物燃焼水平距離 Hs=ストーブ等可燃物燃焼垂直距離
 Ds=ストーブ等可燃物燃焼基準距離

図面名	FA405 内装制限告示内容に 基づく設置図面
縮尺	1/30
ダッチウエストジャパン株式会社	

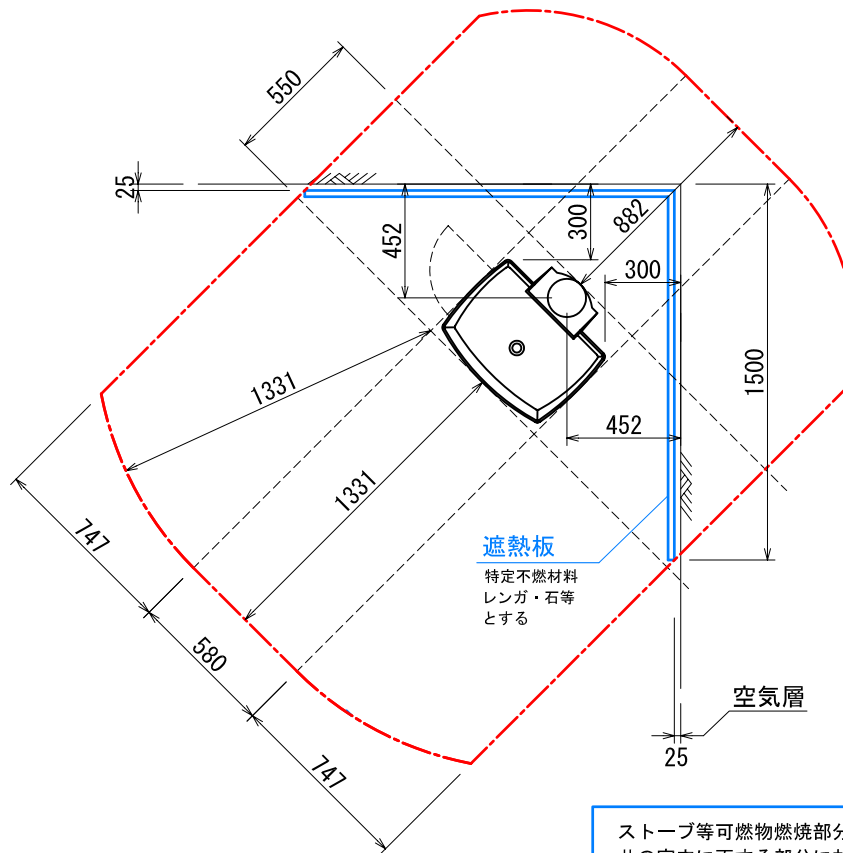
***ストーブ等可燃物燃焼部分**

ストーブの輻射熱・対流熱により燃焼する可能性のある範囲を表す。
 範囲内の下地及び仕上げは、特定不燃材料で仕上げること。
 範囲外の下地及び仕上げは、難燃材料で仕上げること。

平面図



※1 メーカーの規定は400ミリです。



ストーブ等可燃物燃焼部分の壁及び天井の室内に面する部分に対する火熱（輻射熱・対流熱）の影響が上記の図の通り遮熱板を設け、有効に遮断されている場合は、遮熱板の後方は可燃物で仕上げて良い。

FA405:セネ		内装制限告示内容に基づく ストーブ遮熱寸法と離隔距離一覧				
A _v		A _h			H _s	
側面	正面	側面	正面	背面		
220698mm ²	307440mm ²	747mm	1331mm	882mm	1186mm	

Av=ストーブ鉛直投影面積 Ah=ストーブ水平投影面積 Ls=ストーブ等可燃物燃焼水平距離 Hs=ストーブ等可燃物燃焼垂直距離
 Ds=ストーブ等可燃物燃焼基準距離

図面名	FA405 内装制限告示内容に 基づく設置図面
縮尺	1/30
ダッチウエストジャパン株式会社	

内装制限告示内容に基づくストーブ遮熱壁寸法と離隔距離計算表

機種 FA405 : セネカ ▼

最大熱出力/時間 8,600 Kcal/h

10.0 Kw

最大熱出力/ 秒 38.72 Kcal/s

Av : ストーブ鉛直投影面積

$$Av \quad (\text{側面}) = 402 \times 549 = 220,698 \text{ mm}^2$$

$$Av \quad (\text{正面/背面}) = 560 \times 549 = 307,440 \text{ mm}^2$$

Ah : ストーブ水平投影面積

$$Ah = (\text{アッシュリップ、リアヒートシールドを含めた最大奥行き}) \times (\text{最大横幅})$$

$$Ah = 550 \times 580 = 319,000 \text{ mm}^2$$

Ls : ストーブ等可燃物燃焼水平距離

$$Ls \quad (\text{側面}) = 1.59 \times Av(\text{側面}) = 747 \text{ mm}$$

$$Ls \quad (\text{正面}) = 2.4 \times Av(\text{正面/背面}) = 1331 \text{ mm}$$

$$Ls \quad (\text{背面}) = 1.59 \times Av(\text{正面/背面}) = 882 \text{ mm}$$

Hs : ストーブ等可燃物燃焼垂直距離

$$Hs = 0.00106 \left(1 + \frac{1000000}{Ah + 80000} \right) Ah = 1186 \text{ mm}$$

Ds : ストーブ等可燃物燃焼基準距離

Ds = 図面を参照ください。

発熱量、15,480kcal/s 以下のストーブ